

# 国道4号大町・若葉町交差点改良から半年が経過 交通事故が約3割削減。朝の渋滞が大幅に改善！

郡山市中心部に位置する国道4号「大町・若葉町交差点」の交差点改良事業が、平成21年3月31日に完了しました。

この度、交差点改良完了から半年経過し、交通状況の変化等をまとめましたので、お知らせします。

## ■整備効果

大町・若葉町交差点の交差点改良事業により、交通事故が減少し、朝混雑時における市街地の交通がスムーズになり、道路利用者からは通過時間短縮や安全性を実感できた等の効果が現れています。

### 1. 事故削減の効果について【別紙-1参照】

#### 1) 交通事故が約3割削減されました

○大町交差点から若葉町交差点付近：死傷事故件数が約3割削減 平均12件→9件  
※死傷事故とは、死亡・傷害に関する事故を言います

### 2. 交通円滑化の効果について【別紙-2参照】

#### 2) 朝混雑時の渋滞が改善、所要時間が短縮されました

○若葉町交差点（東京方面）渋滞が4割減少 600m → 360m  
所要時間5分短縮（11分→6分）

○大町交差点（仙台方面）渋滞が約2割減少 220m → 180m  
所要時間4分短縮（7分→3分）

### 3. 道路利用者への効果について（アンケート）

【別紙-3,4】

#### 3) 約半数のドライバーが、事故危険性が減少したと実感しております

○「事故の危険を感じた」回数が減ったと実感した方は52%

#### 4) 歩行者・自転車利用者は通行時の安全性を実感しております

○「通行者同士の接触」危険の回数が減ったと実感した方は約66%

《大町・若葉町交差点 位置図》



※記者発表先：郡山記者クラブ

## 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 郡山国道事務所

技術副所長 さいとう ただのり 齊藤 忠則（内線 205）

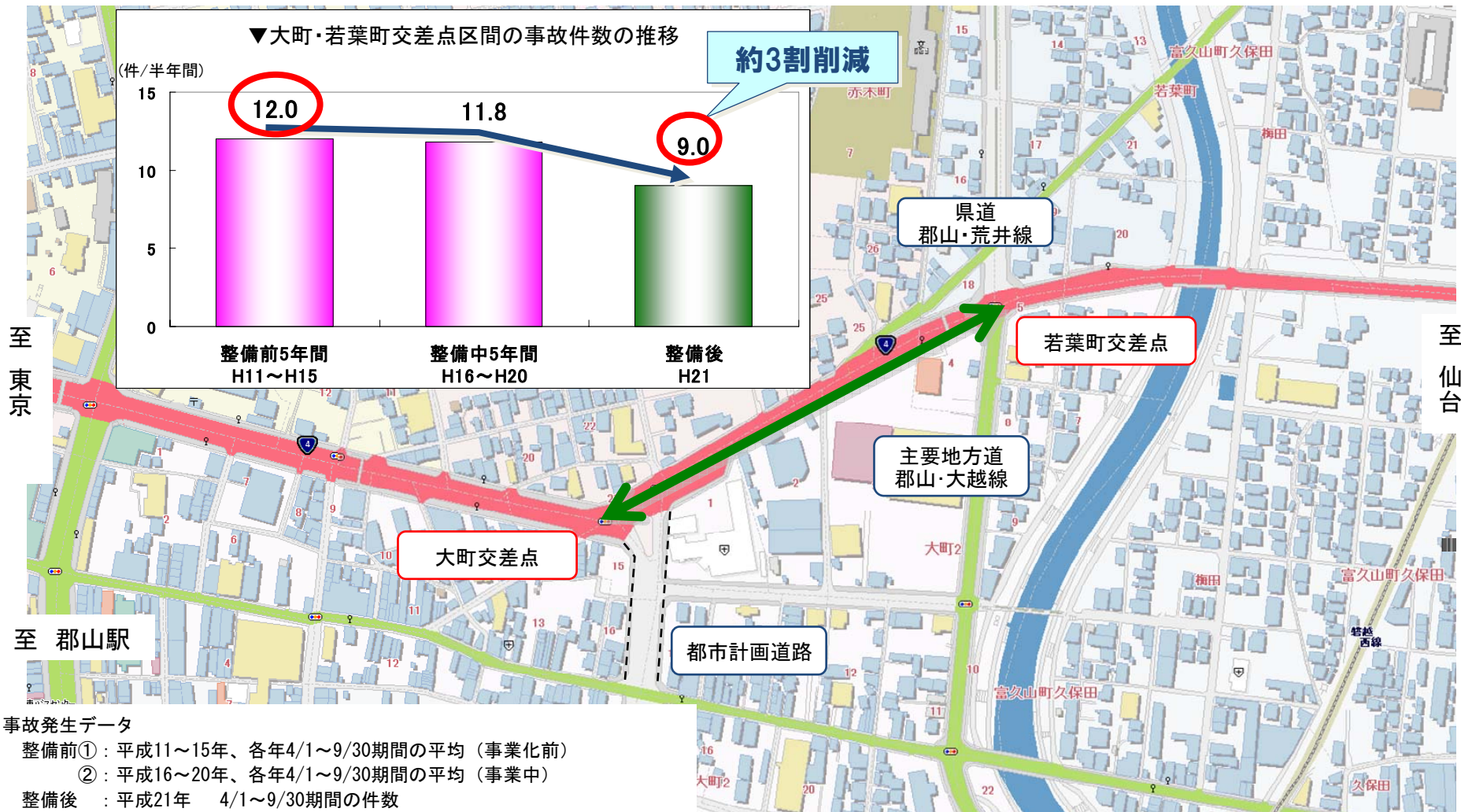
建設専門官 たけだ つねひろ 武田 恒弘（内線 401）

電話：024-946-0333（代表）

# 交通事故は約3割削減

別紙-1

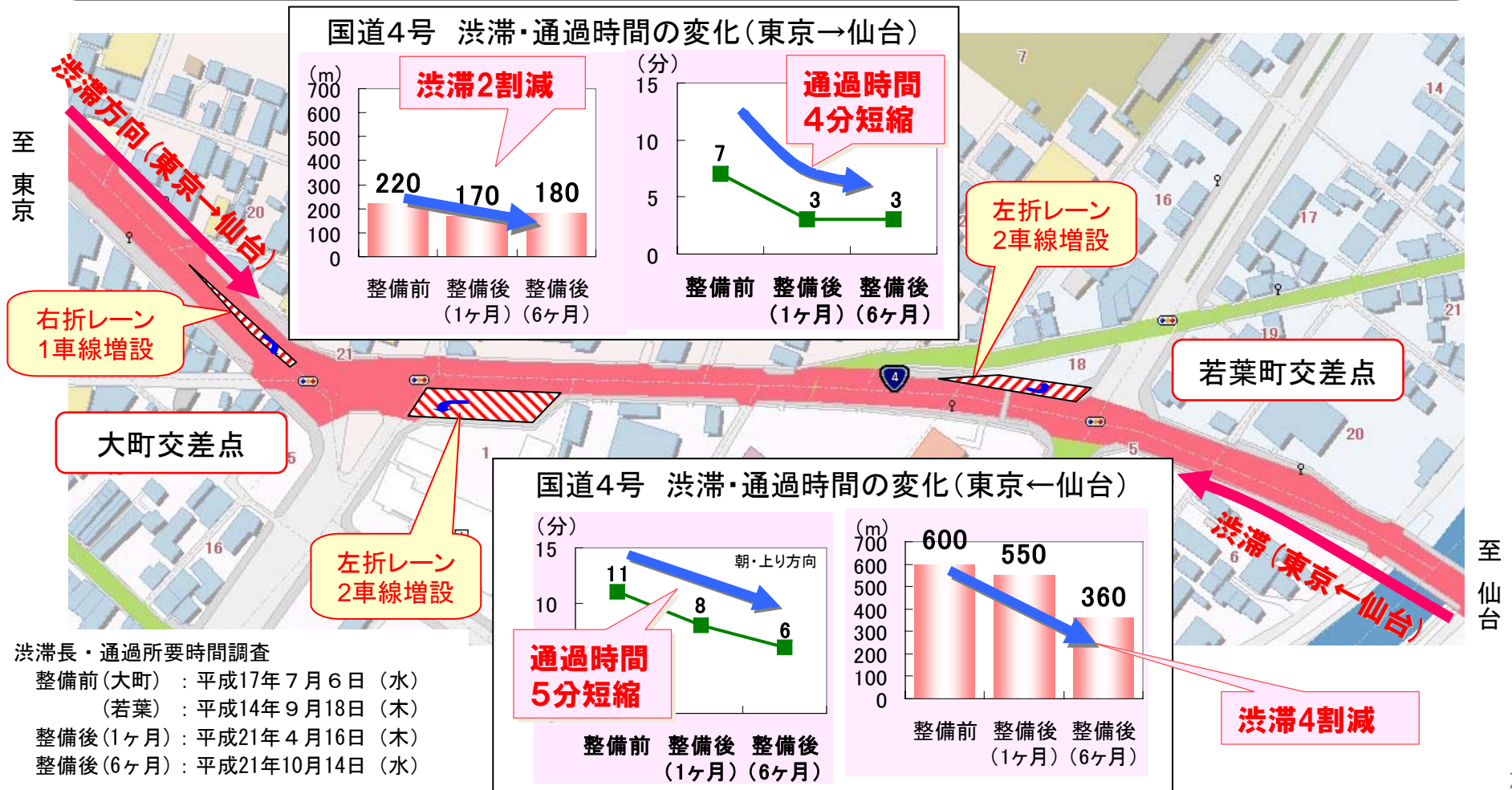
- 交通安全対策事業を行った大町・若葉町交差点間では、整備前、整備中ともに半年間で平均12件の死傷事故が発生していましたが、**整備後の半年間で9件と約3割削減しました。**



# 朝の渋滞長が600mから360mに大幅改善

別紙-2

- 大町・若葉町交差点では、朝夕のピーク時に両交差点を先頭に著しい渋滞が発生し、両交差点を通過するために多くの時間を要していました。
- 整備後は、朝の混雑時間帯の国道4号の渋滞長が4割削減され所要時間が5分短縮しました。（仙台→東京方向）

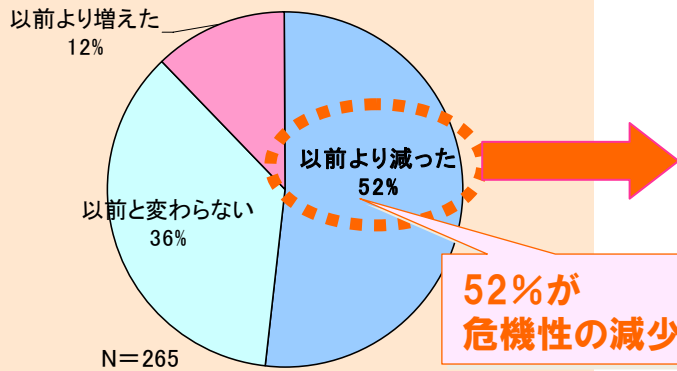


# ドライバーの半数が事故の危険性減少を実感 別紙-3

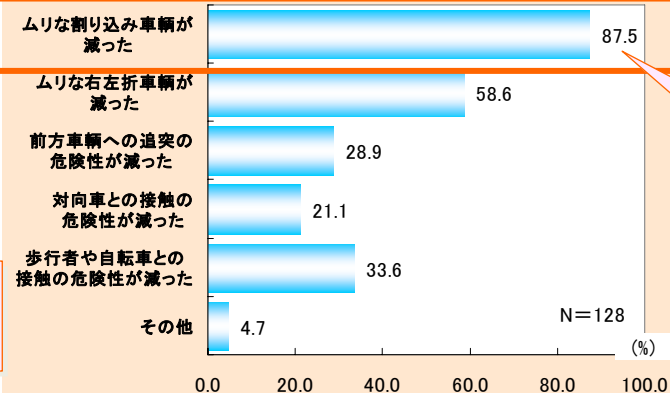
～近隣住民やバス・タクシー会社へのアンケート結果～

- 事業実施により**52%のドライバーが事故の危険を感じる事が減った**と回答。理由の約88%が「ムリな割り込み車両が減った」ことを指摘。
- 事業実施に対して、**74%が「大いに満足」か「どちらかといえば満足」と回答**。
- **72%が時間短縮を実感**、時間短縮を感じる時間は、実測した短縮時間と同じでした。

事故の危険を感じた回数の変化



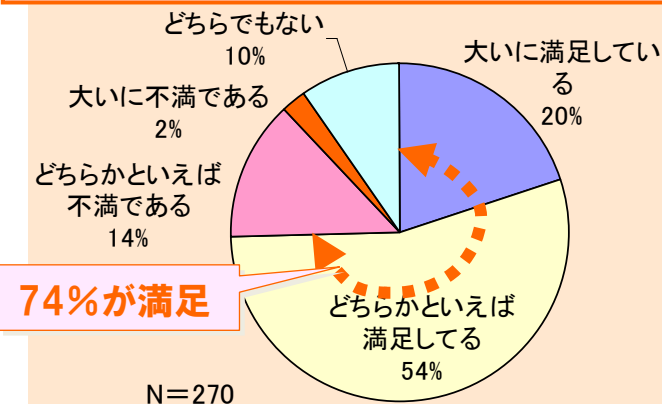
事故の危険を感じる事が減った対象事象



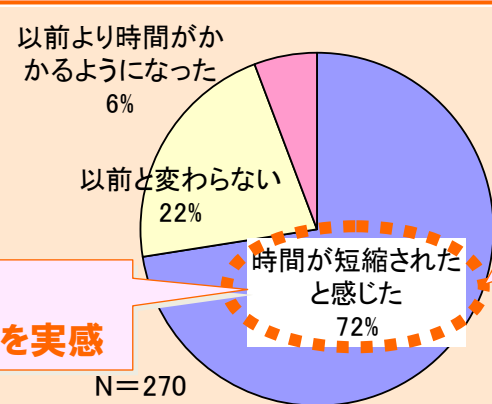
約88%がムリな割込減少を実感

アンケートデータ  
対象：近隣住民（500票）、バス・タクシー事業者（200票）  
期間：平成21年10～11月  
回収：286票（回収率41%）

事業の満足度



時間短縮を感じた割合と短縮時間



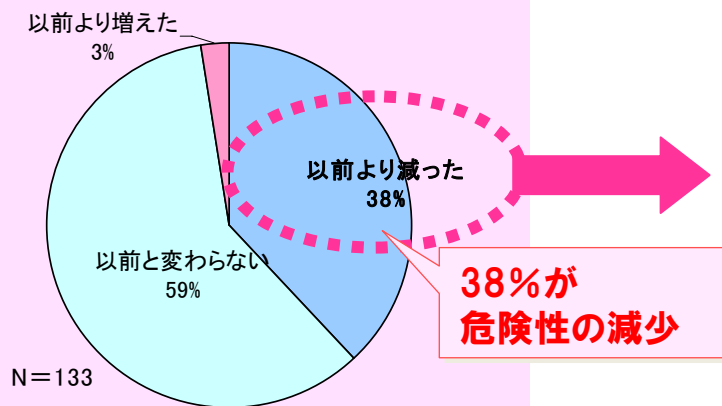
→うち、大町・若葉町交差点間を通行する回答者が感じる短縮時間(平均値)  
・上り(東京方面) 5分  
・下り(福島方面) 4分  
(いずれも実測最大値と同値)

# 歩道利用者は、通行者同士の接触減少を実感 別紙-4

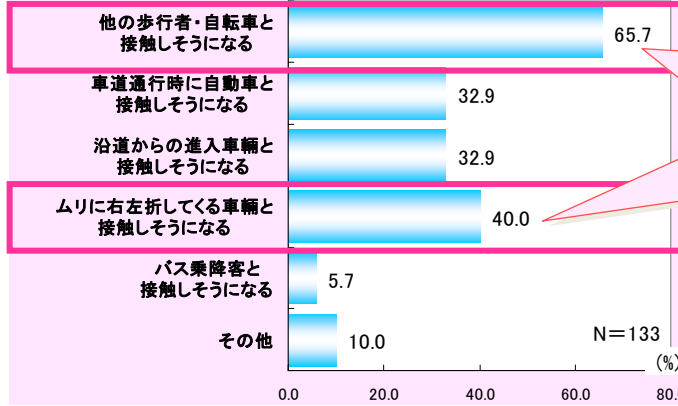
～近隣住民と通学者（高校生）へのアンケート結果～

- 整備後、歩行者・自転車の38%が事故の危険を感じる事が減ったと回答。  
理由の約7割が「他の歩行者・自転車と接触しそうになる」と最も多く、約4割が「ムリに右左折してくる車両と接触しそうになる」が多く指摘。
- 事業に対して、約66%が「大いに満足」か「どちらかといえば満足」と回答。

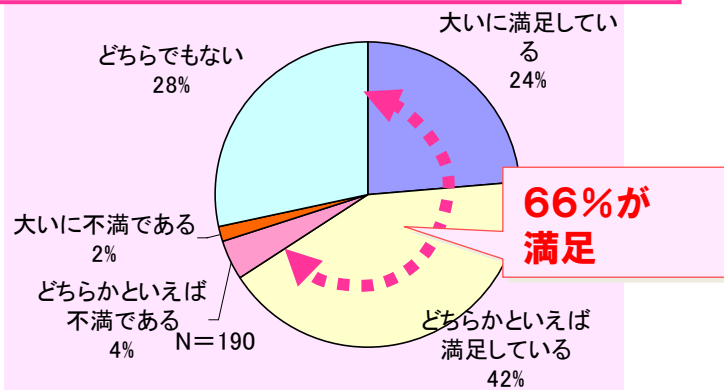
事故の危険を感じた回数の変化



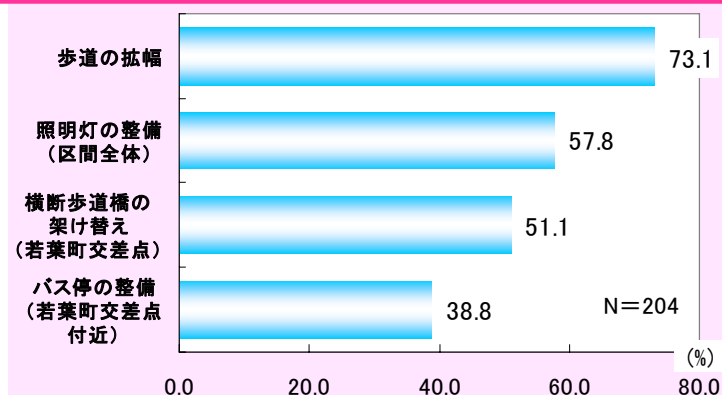
事故の危険を感じる事が回数減った対象事象



事業の満足度



通行・利用しやすくなった整備内容



約66%が自転車等との接触減少、約40%がムリな右左折車両との接触減少を実感

アンケートデータ対象：  
近隣住民（500票）、あさか開成高校及び安積黎明高校生徒（240票）  
期間：平成21年10～11月  
回収：204票（回収率28%）